

Y18b 星空案内人資格認定講座の実施状況について

渡邊 瑛里、佐藤 理絵、柴田 晋平、郡司 修一、滝沢 元和、坂井 伸之(山形大学/NPO 法人小さな天文学者の会)、 縣 秀彦(国立天文台)、坂元 誠(西はりま天文台)、大野 寛(山形短期大学)、他 星空案内人資格創成プロジェクトチーム

天文教育普及を目的として「やまがた天文台」では「やさしい宇宙講座」を従来より開催している。同時に本講座は“ 星空案内人資格認定講座 ”の性格ももっており、今回は特に資格認定方法(認定試験等)も含めたシステムとして実施したので報告する。

今回初めて全国募集を試みた結果、募集人数 30 名に対し応募人数が 96 名であり倍率が 3 倍を超えた。年齢層も幅広く、職種も様々。受講者の意欲も非常に高い。考えることを楽しむ積極的な姿勢で取り組んでいる。

講座は全 8 回で、講義と実技から構成される。講義は「さあ、はじめよう」「望遠鏡の仕組み」「宇宙はどんな世界」「星空の文化に親しむ」の 4 つで、天文学の基礎知識を勉強し、実技は「望遠鏡を使ってみよう(屈折望遠鏡)」「望遠鏡を使ってみよう(反射望遠鏡)」「星座を見つけよう」「星空案内の実際」の 4 つで、“ 星空案内人 ”として活動するためのテクニックなどを勉強する。また、今回は理解向上のために実技フォロー期間なども設けた。

“ 星空案内人 ”になるには、ある程度の単位取得をしなければならない。講義は単位認定レポート、実技は実技試験により単位取得が出来る。ただ「星空案内の実際」の単位取得は、“ 星空案内人 ”となるための最終試験となっている。また、“ 星空案内人 ”の準備段階として“ 星空案内人(準案内人) ”資格も設けた。

10 - 12 月の開催期間を経て 12 月現在、“ 星空案内人(準案内人) ”をすでに 62 %の受講生が取得した。講座内容、認定システム、アンケート結果の詳細内容は 3 月までの結果と合わせて当日に発表する。